

## 林業相談

## 庭木移植後の管理について

問 本年4月末、同じ町内の人から、ヨーロッパアカマツをもらい移植しましたが、6月中旬より葉の色ツヤが悪くなったように思います。

樹勢を回復させる方法をおしえて下さい。

大きさは胸高直径40cm、高さ約10m、崖ぶちに育っていたものをそのまま掘って来ました。運搬のため太い枝の一部を切りました。植えた場所は、小さい樹木のある水田に面した庭で、風は相当強く当たります。

月形町 A生

答 持参の枝の標本をみたところ、新芽がでており、1年葉（前年葉）～3年葉には異状がなく、4年葉に変色・脱落がみられますがこれは新葉と古葉の交替と考えられます。

樹木の新芽が伸びはじめて、乾燥その他の生理障害で枯れる場合、組織のやわらかい新梢から枯れますので、この標本から見る限り心配はないものと思います。

樹木を移植するときはあらかじめ根廻しをして移植するのが普通ですが、今回はそのまま掘り取って移植したとのことで根いたみが相当あると思われます。根系と地上部とのバランスをとるため思い切った剪定が必要です。なお、切口の大きいものはくされ防止のため木ロウを塗って下さい。

幹や太い枝には日焼や乾燥を防ぐため「なわ」をまき、時々散水して下さい。根のまわりは乾燥を防ぐため「ぬれむしろ」で覆い、乾いた時はその上から散水して下さい。

また 風当たりが相当強い所、ということですが、できれば風の当る側に高い杭を数本立て間に寒冷紗などを張って防風垣を作って下さい。

これまでの話の中で、乾燥について注意しましたが、根穴が深く水がたまったり、いつもじめじめした場所では、排水溝を掘り、水の流れをよくしてやることも必要です。

（業務課 岡崎敏人）